

水路

14 嬉野線

嬉野線は第2号幹線水路末端の安政池分水から分かれ、嬉野台地の南山山ろくを通り、山国に達する路線です。延長が4.7kmもあり、開渠、トンネル、暗渠と様々な形態を取りながら、水を運びます。毎秒1.49m³の水が流れ、加東市の上水道に水を供給しています。



15 皿干社線

皿干社線は嬉野線から分岐する水路で、社会工業団地まで送水しています。延長が3.8kmで、松尾の大池、田中の今池、佐保の佐保新池にも注水します。この水路ができたため、兵庫教育大学附属小中学校南にある嬉野の開墾が進み、畑地や雑木林が、広大な水田に変わりました。



16 久米南山線

久米南山線は、第2号幹線水路より久米南山分水にあるポンプによって、嬉野台地に配水している開水路です。この水路は、まるで「くし」のようになっていて、総延長が5.7kmもあります。



17 嬉野ポンプ線

安政池東にある嬉野ポンプによって第2号幹線水路から水をあげて、嬉野の開拓地に配水しています。ダムが出来る前の嬉野台地は高台で水の便が悪く、サツマイモやスイカ、たばこなどを栽培していたといえます。現在は水田が広がる美しい田園地帯になっています。



18 大部線

大部線は小野市広渡町の中を南に延びる水路です。第5号幹線水路から分岐したコンクリートライニング水路で延長は3.3kmもあります。この水路は、船木池に貯められた用水を敷地町や広渡町の農地を直接かんがいするほか、鹿野町平池、敷地町ソコ池などに分水し、最後は小野大池に至ります。



19 第5号幹線水路

第5号幹線水路は、船木池から台地の麓を通過して小野市浄谷町まで伸びる水路です。延長4.2kmのうち4.0kmが開水路で当初はアーチ型コンクリートブロックで施工されていました。途中で船木町のハジコ池や森池に分水し、小野市の水道にも注水しています。



20 草加野万勝寺線

草加野万勝寺線は総延長6kmを越える水路で、小野市万勝寺町、大開町一帯に送水しています。標高が高いためこの水路には大きなポンプ3台が設置され、そこから水路を延ばしました。水が来るようになってから、牧畜や養鶏、畑作をしていた人たちの多くが、稲作を始めました。



21 草加野万勝寺線 第1号ポンプ(脇本ポンプ)

1958年(昭和33年)に完成した6600ボルトを受電する400馬力の巨大ポンプで、毎分20トンの水を54m高い地点まで送水しています。

